

研修会参加報告

会派名 れいわ新選組西尾

1. 研修の概要

- (1)目的 市川房枝政治参画フォーラム 2025
- (2)日時 2025.10.25 (土) 10時～16時15分
- (3)場所 婦選会館
- (4)参加者 山市志保 (音声請求にて研修)

2. 研修内容

戒能 民江氏 (お茶の水女子大学名誉教授、女性支援法推進を促進する会会長) 女性支援法施行の意義と課題－地方自治体の役割を問い直す講演

古田 徳史氏 (国立市政策経営部市長室長) 私の意思を尊重した支援とは官民協働の支援の必要性講演

門間 尚子氏 (NPO 法人 mia forza) 困難に直面する女性の関わりから見える必要な手について講演

3. 質疑応答

4. 所感等

女性が直面する困難は、決して個人の努力不足ではなく、日本社会が抱える構造的な問題である。「どうせ頼っても無理」と思わせてしまう社会の側に課題があると感じている。現行の女性支援法では一時保護が中心であり、その後の“次のステップ”が乏しく、実家に戻るか就職するかという限られた選択肢では根本的な解決にはつながっていない。女性の困難は、経済的困窮、DV、性的搾取、居場所の欠如、予期せぬ妊娠、長年の男女不平等など、複数の問題が重なって生じるものである。特に若年層ほど公的な相談につながりにくく、支援が届かない状況が深刻である。だからこそ、支援の出発点は、その人の経済状況や背景、人生のストーリーを丁寧に知り、当事者の意思を尊重することである。女性の困難は社会全体で向き合うべき課題であり、個人に責任を押しつけない支援体制への転換が求められている。

項目	支出金額	備考
音声・資料	7,000 円	
送料	500 円	
合計	7,500 円	